

私立大学図書館協会東地区研究部
2006年度第5回運営委員会議事録

日時 : 2006年10月13日(金) 14:30~17:30
場所 : 昭和女子大学 80年館2階 会議室
出席者 : 秋沢久美子(駒澤大学)、五十嵐明子(法政大学)、石原智子(慶應義塾大学)、
久世泰子(東京経済大学)、長岡三智子(早稲田大学)、野口真生(大正大学)、
前之園香世子(昭和女子大学)
齊藤 毅、渡辺美好、相田 勉(研究部担当理事校・国士館大学)
欠席者 : 佐藤研一(立正大学)
オブザーバー : 山根美佐子(月例会担当理事校・立正大学)
議題 :

1. 2006年度研究会(交流会)について

研究部担当理事校より、(資料1-1~3)に基づいて説明があり、レファレンス研究分科会の活動報告テーマが「国立国会図書館のレファレンス協同データベースについて」に変更になったとの報告があり、了承された。また10月13日現在の交流会参加申込みは50大学76名で、意見交換会の参加申込みは48名との中間報告があり、併せて交流会・意見交換会開催について運営委員の協力要請があった。

2. 夏期研究合宿の開催地について

研究部担当理事校より、(資料2)に基づいて説明があり、研究分科会の夏期研究合宿の開催地について、「月例会開催地近圏で開催することを原則とする」とある『研究分科会マニュアル』の説明文から「原則」を削除したいとの提案があり、承認された。

3. 研究分科会会員追加募集について

研究部担当理事校より、一部の研究分科会において会員の人事異動によって減員したため研究活動に支障が起り、当該研究分科会代表者から追加募集の希望があるとの報告があった。検討した結果、追加募集を希望する他の研究分科会も調査したうえ、今年度内に月例会担当理事校が追加募集を実施することになった。

4. 会員異動担当理事校について

月例会担当理事校より、(資料3)に基づいて説明があり、分科会会員更新以降の途中入退会等を含む会員異動通知関係業務の担当校を来年度より変更したいとの提案があったが、今年度はこれまで通り月例会担当理事校で行い、月例会担当理事校は次期校への引き継ぎの際に今後の課題として申し送ることです承された。

5. 研究分科会特別助成金について

研究部担当理事校より、(資料4-1・2)に基づいて説明があり、検討の結果、提案のとおり「研究分科会マニュアル」および「研究分科会の会計処理に関するガイドライン」の特別助成金に関する条文を改訂することが承認され、併せて特別助成金申請

書の様式 20 も了承された。

6. 研究分科会助成金について

研究部担当理事校より、資料(5-1・2)に基づき、研究分科会会員の年会費および合宿参加費の負担軽減を図って会員増を目指すため、次回運営委員会に各運営委員の意見を聞いて支給基準の改訂案を提案したいとの説明があり、了承された。

7. 研究分科会予算の執行について

研究部担当理事校より、監事校から次年度繰越金を漸減してほしいとの指導が今春あったので、次回合同会議にて合宿費の経費のうち宿泊費・旅費交通費以外の科目は助成金より支出するよう研究分科会に改めて通知したいとの提案があり、了承された。

8. 2006年度第2回運営委員・研究分科会代表者合同会議について

研究部担当理事校より、資料(6)に基づいて進めたいとの報告があり、了承された。

9. 研究部報告書の構成について

研究部担当理事校より、資料(7)に基づいて説明があり、2006年度研究部報告書の構成を一部変更したい、また研究講演会、研究会(交流会)の概要を追加掲載したいとの提案があり、了承された。

10. 研究部報告書の協会HPへの搭載について

研究部担当理事校より、2006年10月4日に開催された協会HP委員会打ち合わせ会で協会関係資料の協会HPへの搭載について意見が出、それに基づいて研究部担当校へ相談があったとの報告があった。検討した結果、2006年度分から研究部報告書を搭載する、決算書・予算書および会員名簿を削除し、執筆者等に許諾を得て搭載することです承された。

11. 2007年度研究講演会の講師と演題について

研究部担当理事校より、次回運営委員会までに2名の講師と演題を推薦していただきたいとの要請が各委員にあった。

12. 次期運営委員の推薦について

研究部担当理事校より、資料(8)に基づき、過去の委員選定方法について説明があり、2007～2008年度運営委員を資料記載の各大学に推薦を求めることです承された。

13. その他

HPにプライバシー・ポリシーを載せてはどうかとの意見があったが、協会全体の情報公開に関するこのため、会長校および協会HP委員会に検討を依頼することです承された。

以上